

もっと海を！

Mehr Meer

ヨーロッパで多言語世界の文学を考える

イルマ・ラクーザ × 多和田 葉子

対談・朗読

言葉と言葉のあいだにありながらつねに動いている「海」。
イルマ・ラクーザの自伝的作品『Mehr Meer』(もっと海を)、
ロシアの詩人ツヴェターエワの海をめぐる作品をとりあげながら、
他言語多文化のなかで執筆する二人の作家が対話する。



Ilma Rakusa — 作家・翻訳家。作家・編集者としての多彩な活動とともに、ロシア語、セルビア・クロアチア語、ハンガリー語、フランス語からドイツ語へのすぐれた翻訳活動で知られる。ペトラルカ翻訳者賞。シャミツソー文学賞他受賞。チューリヒ在住。



多和田葉子 — 日本語とドイツ語の二つの言語で執筆活動を行う。芥川賞、シャミツソー文学賞、読売文学賞他多数受賞。ベルリン在住。

日時: 2013年11月8日(金)
17:50-20:00

場所: 東京外国語大学
研究講義棟4F
総合文化研究所 (422)

司会・コーディネート: 山口裕之
詩の朗読参加: 前田和泉

使用言語: ドイツ語・ロシア語・
日本語 (通訳あり)

主催: 総合文化研究所
問い合わせ:

hiro.yamaguci@tufs.ac.jp (山口)